

生涯現役私の草野球人生

たむらまさひこ
はちまんたい
八幡平市長(岩手県) **田村正彦**
Masahiko Tamura



わがまち八幡平市

八幡平市は平成の大合併がピークだった平成17年9月1日に西根町、安代町、松尾村の3町村が合併し誕生した人口5万人に満たない市です。全国ほとんどの自治体同様、少子高齢化、人口減少という現実にさらされていますが、合併時に制定された市の将来像「農と輝の大地 八幡平市」の創造へ向け、市民の皆さま、議会、そして市が連携しながら頑張っています。

最近の出来事

私は5月にアフリカのルワンダ共和国へ2度目の訪問をしました。何でルワンダな



東京オリンピック・パラリンピック・ホストタウン覚書を締結(前列右から4人目が筆者)

のかと思われるでしょう。本市が誇る農の一つとして、旧安代町が取り組んできた日本一の生産量を誇る花「安代リンドウ」があります。

昭和46年に地域の青年たちにより初めて種が蒔かれ、以来半世紀にわたり、失敗を乗り越えながら栽培技術の向上を図る一方、品種改良による町独自のブランド力を持つリンドウ育成のため、専門技術者を招請し、町立の花き開発センターを開設。オリジナル品種の開発に成功するという、画期的な取り組みに挑戦してきました。

これにより国内での販売力、生産力が飛躍的に向上。生産者の所得向上につながった今日、そのことが平成27年度農林水産祭天皇杯受賞に結び付いたものだと思っております。

受賞のもう一つの大きな理由は、平成14年から取り組んでおりますオランダ市場への切り花輸出と日本とは出荷時期が全く異なる南半球のニュージールランド、チリでの安代リンドウの栽培と出荷です。その成果として平成28年に本市で開催された希望郷いわて国体冬季大会スキー競技会の開会式会場のステージをチリ産の安代リンドウでいっぱい飾り、季節外れの珍しさで好評を博しました。

一方、みずほ総研、トヨタ自動車による発展途上国支援プロジェクトの呼び掛けに



ルワンダ産リンドウの生産ほ場にて

応え、ルワンダ共和国での安代リンドウ栽培の実証試験を、首都キガリから北西部百数十km先のムサンゼの地で始めましたが、主に土質の課題を克服できずに失敗しました。この失敗を糧に栽培場所をキガリ近郊の水田跡地に移したところ見事成功し、今年5月には、100%とは言えないまでも、出荷に耐え得る安代リンドウがアフリカ大陸のルワンダの地で誕生しました。5月14日には、在ルワンダ日本大使館公邸においてルワンダ共和国農業大臣をはじめと



チームメイトとの集合写真



チームでピッチャーを務める筆者

する政府関係者とプロジェクトに関わった皆さまの出席の下、盛大に出荷式が執り行われました。是非、このプロジェクトが順調に進展し、ルワンダの発展の一助になればと願うとともに、ルワンダとの栽培技術交流の必要性を感じてきました。

ルワンダ共和国との3年間の交流は一方では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに出場するルワンダ選手団をフォローするホストタウンにわが市が登録することにつながりました。リンドウを通じた縁を大事にして、より幅広い交流ができればと楽しみにしております。

大好きな野球

私は趣味が多い方だと思いますが、その中でも軟式の草野球は終始一貫、現在も続けている最も楽しい趣味です。かと言って中学、高校等のクラブ活動で野球をした経験は全くなく、チームとして野球を経験したのは学生時代のアルバイト先の野球チームに誘われ、始めたのがきっかけでした。卒業して地元に戻り、農業団体に就職。その団体の理事長は人に負けるのが大嫌いで、毎年行われる北東北三県の対抗野球大会で優勝することが至上命令でした。勝つためなら「仕事はやらなくてもいいから練習しろ。仕事は午後3時以降、しなくていい」と言われる環境の下で鍛えられ、20代30代を過ごしました。

職場のチーム以外に、全国軟式野球連盟に登録された地域のB級(草野球)チームに所属し、県大会を目指したものです。ポジションは主に投手を任せられ、30代まではレギュラーとしてプレーしていました。

だが、年々レギュラーの座が遠のいていきました。

団体競技の場合、レギュラーから外れると言葉にならない寂しさがあり、反省会の酒も旨みが失われがちになるものです。

でも野球は違います。40歳になれば40歳以上の大会、50歳以上、60歳以上、70歳以上それぞれの大会があります。野球が好きでプレーしている限り、レギュラーのチャンスは回ってきます。私は全ての年代を経て現在は70歳以上(古希)のチームに属しており、年齢がちょうど70歳なので現役バリバリ、チームにとっては期待の星、でしょうか？

若い当時の野球は常にピリピリ状態。エラーやチャンスで凡退すれば、仲間の冷たい視線を受けながらの試合だったと記憶しています。年代別野球に移ってからはエラーも良し、チャンスでの凡退も笑顔でOK。試合後の反省会は失敗が酒の肴となり、ストレス解消にはもってこいです。今、わがチームの話題は、岩手県だけでも75歳以上のチームによる大会開催を目指そうと連盟に働き掛けていることです。もしそうなれば5年後、私もそのチームに参加し、生涯、大好きな野球尽くしの素晴らしい人生かなと今から楽しみです。

70歳以上の東北北海道地区大会が7月28日から岩手県で開催されます。まずは初戦突破を目指し頑張ります。